

12月に入ってから、こちらでは街全体がクリスマスモードで溢れかえっていました。学校にはいくつものクリスマスツリーが飾られ、いくつかの教室は先生の好みによりライトアップされていました。以前、ホームカミングウィークという色々な服を着る1週間があったように、今回もサンタの帽子をかぶる日や、全身白の服を着る日、醜いセーターと呼ばれるクリスマスのセーターを着る日、パジャマデーなどがありました。家では、エルフと呼ばれる人形が毎日夜の間場所を変えて座っていて、子供たちは必死になって探します。街の川沿いには学校や家族等の多くの団体が装飾したクリスマスツリーが700本以上置かれ、その迫力と綺麗さに驚かされました。クリスマス当日の朝には、枕元ではなく、どの家庭にも必ずある大きいツリーの足元に大量のプレゼントが置かれていました。日本では子供だけがサンタさんからプレゼントをもらえるイメージですが、私の住んでいるところでは家族全員が全員にプレゼントを渡していました。もちろん、場所によって違うと思いますが、私は家族の都合により、友達の家族と、自分のホストファミリーと2回クリスマスパーティーをすることが出来ましたが、どちらも家族全員でプレゼントを渡し合い、1番押さない人からプレゼントを開けていくというものでした。そのため、誰もがひとつではなく大量のプレゼントを貰えることができます。私はこの1ヶ月で色々な人と関わり、さらに親交を深めることが出来ました。行事を大切に全力で楽しむ文化は、アメリカのとても良い文化の1つだと思います。

笑顔で2019年を終えることが出来てとても嬉しいです。今年も沢山のことに挑戦して、色々なことを得たいと思います。

白鷗高校12期生 次世代リーダー育成道場7期生 Y・M